

令和8（2026）年度新採用消防職員防火服詳細仕様書

背文字入り・附属品付き仕様書

柏崎市消防本部

この仕様書は、柏崎市が購入する消防吏員用上下型防火服について定めたものである。

1 概要

この防火服は、外衣と中衣からなる多層構造とし、『ボディ・ナビデザイン』による特殊立体デザインの上衣とズボンとする。外衣と中衣は着脱可能なものとする。

防火服のISO規格であるISO11999に準拠したものとする。

また、血液・体液を媒介とする感染症病原体から隊員を保護するため、透湿防水層には、JIS T 8060D及びJIS T 8061Dに規定されている人工血液バリア性、ウイルスバリア性試験においてクラス6レベルに適合する素材を用いること。

2 使用材料

(1) 外衣生地（上衣／ズボン共）

品名	ティジン・ジーバリア®ライト X 29720	備考
混率	メタ系アラミド 53% パラ系アラミド 47%	
組織	二重織	JIS L 1096
重量	215±10 g/m ²	JIS L 1096
引張強力	タテ 2300N以上 ヨコ 1670N以上	JIS L 1096 A法
引裂強力	タテ 375N以上 ヨコ 300N以上	JIS L 1096 A-1法
色相	ネイビー	
染色方法	メタ型・パラ型アラミド共に原液着色	顕微鏡法
番手	表・タテヨコとも 40番手双糸 裏・タテヨコとも 20番手双糸	JIS L 1096
密度	タテ 91本以上(2.54cm間) ヨコ 81本以上(2.54cm間)	JIS L 1096
燃焼性	残炎時間 残じん時間 炭化面積	1秒以下 1秒以下 10cm ² 以下
染色堅牢度	洗濯 汗変退色 摩擦	(変)4級以上 (汚)4級以上 4級以上 (乾)4級以上
撥水度	L0/L10	5級以上/3級以上
撥油度	L0/L10	5級以上/4級以上
摩擦帶電電荷量	7 μC / m ² 以下	静電気用品構造基準による JIS L 1094 C法

(2) 中衣

透湿防水層 (上衣／ズボン)	品名 X 29020 ゴア クロステック®ラミネート品 組成 アラミド100%基布にゴア クロステック®をラミネートしたもの
-------------------	---

	<p>【要求性能】</p> <p>耐水圧：初期及び洗濯20回、294Kpa以上 JIS L 1092 フィルム面 加圧 目皿使用</p> <p>透湿度：850g/m²/h以上 JIS L 1099 B-2法</p> <p>ウイルスバリア性試験：JIS T8061 D法：20回洗濯後 クラス6合格</p>
遮熱層兼裏地 (上 衣)	品名 テイジン・テックウェーブ(TM) 品番 X29F20 色相 ネイビー
遮熱層兼裏地 (ズボン)	品名 テイジン・エクスファイア®リップトップ 品番 X29R20 色相 ネイビー(格子部はゴールド色)

(3) 補助材料

内 袖 口	アラミド100%ニット
面ファスナー	幅25mm 38mm 50mm
反 射 材	75mm巾 パンチングメッシュ 色相等は別途指示する
保冷剤ポケット	ナイロン黒メッシュ
ファスナー	YKK ファスナー
サスペンダー	ゴム製テープ幅38mm黒色 形状はホルスター型とする
押しホック	真鍮製#7050Aマーク
縫 製 糸	メタ系アラミド 100% 40番及びパラ系アラミド(フィラメント) 30番
膝 当 て 布	ティジン・エクスファイア®ツイル CX-2725

3 縫製

(1) 全般

- ア 各部の縫い合わせは良好であること。
- イ 糸調子は良好であること。
- ウ 縫い代は約1cmとし、表地はオーバーロックを掛け縫い始め、縫い終わりは返し針を施すこと。
- エ 各部の縫製は防水構造を用いた縫製とすること。

4 上衣

(1) 身頃

- ア 前身頃のハギ脇合わせはオーバーロックを掛け地縫いをして片倒し飾り縫いとする。
- イ 左前身に幅10cmの前立付きとし前立内側に面ファスナー及びコイルファスナーを縫い付ける。
- ウ 右前身頃に面ファスナーとコイルファスナーを付ける。
- エ 前立下部に押しホックを取り付ける。
- オ 両前立側面にマイクハンガー及びアンテナ止めを取り付ける。
- カ 後身頃は一枚仕立てとする。
- キ 前身頃胸部・後身頃背中・裾に反射テープを縫い付ける。

- ク 見返し上部にハギを入れ中衣着脱のコイルファスナーを付ける。
- ケ ポケット上部及びベルト通し裏面に力布として透湿防水層を縫い付ける。
- コ 右前身頃見返し下部に片布を取り付ける。
- サ 左肩に腕章用ループを取り付ける。
- シ 安全帶用ベルト通しを取り付ける。

(2) 襟

- ア 表及び裏に共布を用いた一枚襟とし、芯地を入れ、地縫いの上飾り縫いをする。
- イ 襟巾は後中心で約11cmとする。
- ウ 襟の前部にはストラップが取り付けてあること。
- エ 襟付けは防水構造を用いた縫製とする。
- オ 表襟中央に襟吊りとサイズマークを付ける。

(3) 袖

- ア 袖は特殊ハギを用いた4枚袖とする。
- イ 運動性を良くする為に後袖山にダーツを設ける。
- ウ 袖口にアラミド素材のジャージと浸水防止用透湿防水層を縫い付ける。
- エ 袖口には擦れ防止用として幅約3cmの共生地を縫い付ける。
- オ 袖口には擦れ防止用として幅約3cmのコーティング基布を縫い付ける。
- カ 袖口より約10cm上に反射テープを縫い付ける。
- キ 袖口に中衣止め用押しホック付ナイロンテープを左右各2個取り付ける

(4) ポケット

- ア 前身頃の胸部左右と下部（裾）の左右に、合計4個のポケットを設ける。
- イ 形状は三方風巾ポケットで雨蓋付きとする。
- ウ 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け地縫いの上飾り縫いとする。
- エ 縦18cm、横7cm、厚さ7.5cmの携帯無線機が入る大きさにすること。（アンテナは含まない）
- オ 胸ポケット上部にアンテナ止めを設ける。
- カ 胸ポケット内側に警笛用ループを取り付ける。
- キ ポケット底部に水抜き穴を設ける。

(5) 中衣

- ア 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いする。
- イ 肩部に難燃フェルト（遮熱層兼裏地）を縫い付ける。
- ウ 両脇に保冷材収納用ポケットを縫い付ける。
- エ 透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いをし、シームテープで目止めをする。
- オ 右前身頃下部に取り扱い表示、及びサイズマークを縫い付ける。
- カ バイヤステープで身頃及び袖口を始末し、外衣着脱用コイルファスナーを付ける。

(6) 背文字

背文字を刷り込み印刷で入れること。黄色で下記レイアウトのとおりとし、文字位置については担当者と協議すること。



5 ズボン

(1) 身頃

ア ズボンの形状は、最初から「く」の字の様に曲がっているデザインとしてベルトとサスペンダーにより支持するものとする。

イ 内股部・脇部に運動性を良くするための特殊ハギを入れる。

ウ 脇縫い・内股縫い・尻縫いは裁ち目にオーバーロックを掛け地縫いをして片倒し飾り縫いとする。

(2) 前立て

ア 前立てはコイルファスナーと面ファスナーの併用仕立てとし押しホックで止める。

イ 押しホックの裏側には透湿防水層の当て布を付ける。

(3) 膝部

ア 運動性を良くする為に膝部はバイヤス裁ちにする。

イ 膝部に補強の為バイヤス裁ちにした当て布を縫い付ける。

ウ 膝部に補強の為コーティング基布を縫い付ける。

(4) 腰部

ア ベルト通しを6本縫い付け、右前ベルト通し下にサイズマークを挟み縫いする。

イ ベルト幅は約38mmとし、腰の両側で確実に締められる構造であること。

ウ ベルトが抜けないように先金（樹脂製）付きとする。

エ 締め付けた後に緩まないようにフリーフェースナーで固定できる構造であること。

オ 前身頃上部に外衣共生地でサスペンダー受け金具支持台を縫い付ける。端末部分はカン止めをする。

カ サスペンダーは、着用者の動きを妨げないホルスター型とする。

キ 腰裏地に中衣着脱のコイルファスナーを付ける。

ク 左腰裏に片布・サイズマークを縫い付ける。

ケ 安全帯を装着できる構造であること。

(5) 裾

ア 両裾から約10cm上の位置に、反射テープを縫い付ける。

イ 裾口脇側に開閉コイルファスナーを取り付ける。

ウ 裾口に絞り用フランプを取り付ける。

エ 中衣固定のため、押しホック付ナイロンテープを左右各2個取り付ける。

オ 裾口には擦れ防止用として幅約3.5cmのコーティング基布を縫い付ける。

(6) ポケット

ア 大腿部外側の左右にポケットを設ける。

イ 形状は三方風巾ポケットで雨蓋付きとする。

ウ 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け地縫いの上飾り縫いとする。

エ ポケット底部に水抜き穴を設ける。

(7) 中衣

ア 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いすること。

イ 透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いシームテープで目止めをする。

ウ 膝部に難燃フェルトを（遮熱層兼裏地側）縫い付ける。

エ バイヤステープで腰部及び裾口を始末し、外衣着脱コイルファスナーと面ファスナーを付ける。

オ 左身頃上部に取り扱い表示・片布・サイズマークを取り付ける。

6 しころ

ア しころは1枚裁ちとし、傷、汚れ等の欠点のないものとする。

イ 裏面上端部に、綿テープを縫い付け補強する。

ウ 顔面を覆う折り返しを外衣共生地で縫い付ける。

エ 片布を裏面中央に縫い付ける。

7 寸法表

(1) 上衣

サイズ	着丈	桁丈	胸囲	裾回り
S	67	77	116	112
M	69	80	120	116
L	73	83	124	120
LL	77	86	130	126
3L	81	89	136	132
4L	85	92	146	142
5L	89	95	156	152
BM	73	78	124	120
BL	77	81	130	126
BLL	81	84	136	132
B3L	85	87	146	142
B4L	89	90	156	152
B5L	89	93	166	162

* 桁丈に関しては±5cm刻みで調整可能とする。

(2)ズボン

ウエスト	裾幅	股上	渡り幅
W80	21	28	36
W85	21	29	37
W90	21.5	30	38
W95	22	30	39
W100	22.5	31	40

ウエスト	裾幅	股上	渡り幅
W110	23	32	43
W120	24	33	46
W130	25	34	49
W140	25	35	52

* 股下に関しては±5cm刻みで調整可能とする。(例:股下70cm、股下75cm、股下80cm 等)

8 附則

- (1) 落札業者は物品納入時に防火服に使用する表生地に関して、生地紡績メーカーの品質証明書出荷引受書、並びに中衣素材に関しては、中衣①透湿防水層の要求性能を満たすことを示す素材メーカーの品質証明書を提出すること。
- (2) 仕様書に記載がない部分については当本部と打ち合わせるものとする。

9 附属品

附属品は下記のとおりとし、指定品とする。

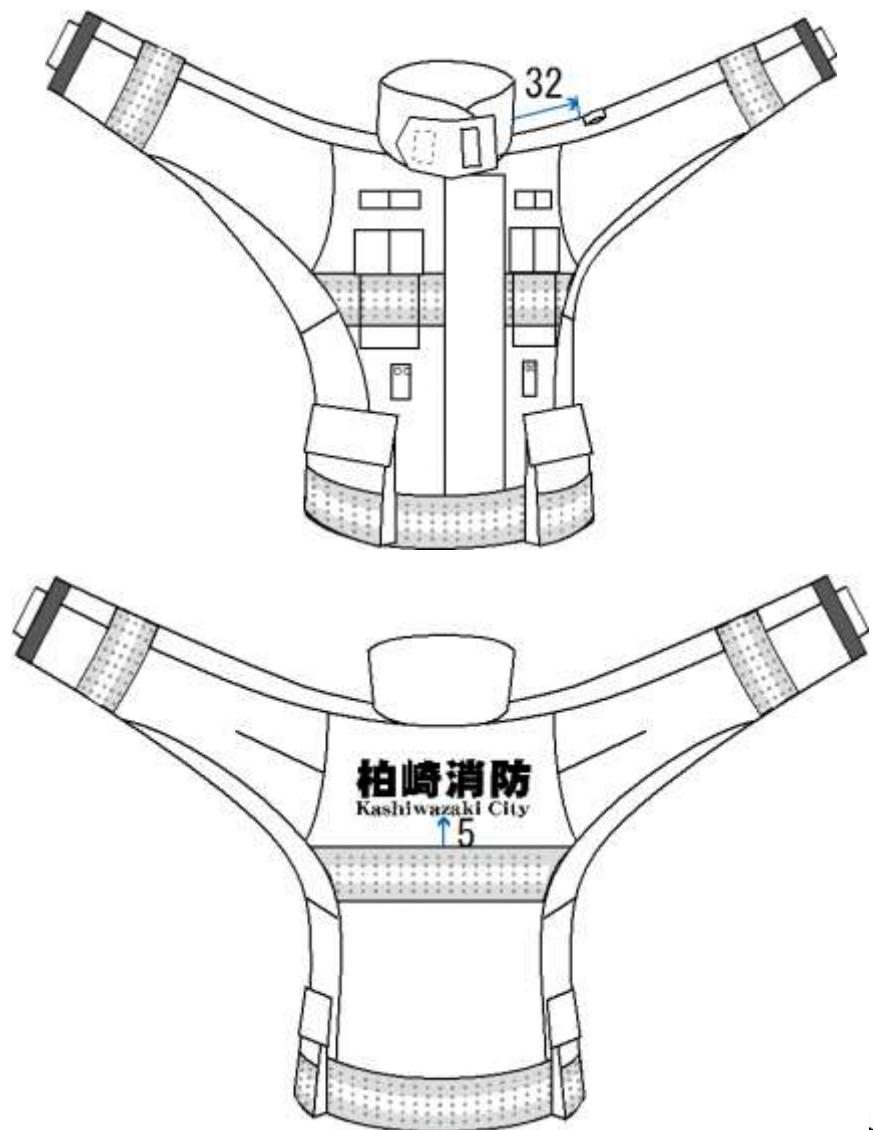
- (1) 赤尾製N E O—P 2 2ヘルメット 銀（自己消火型、防護面内蔵式、き章・周章・所属名及びネーム入り）
 - ア 帽体には「柏崎消防」と左右に刷り込み印刷
 - イ 大きさは一文字約3cm角、色は黒、文字体は角ゴシックとする。
 - ウ 階級ごとに周章（赤スコッチテープ）を巻く。但し、文字部分、後部中央約7cmはカットすること。
- (2) H A I X社製 防水皮製防火靴
- (3) 墜落制止用器具 赤尾製N E O—R 2型（ワンタッチバックル式、黒色、120cm）

10 納期等

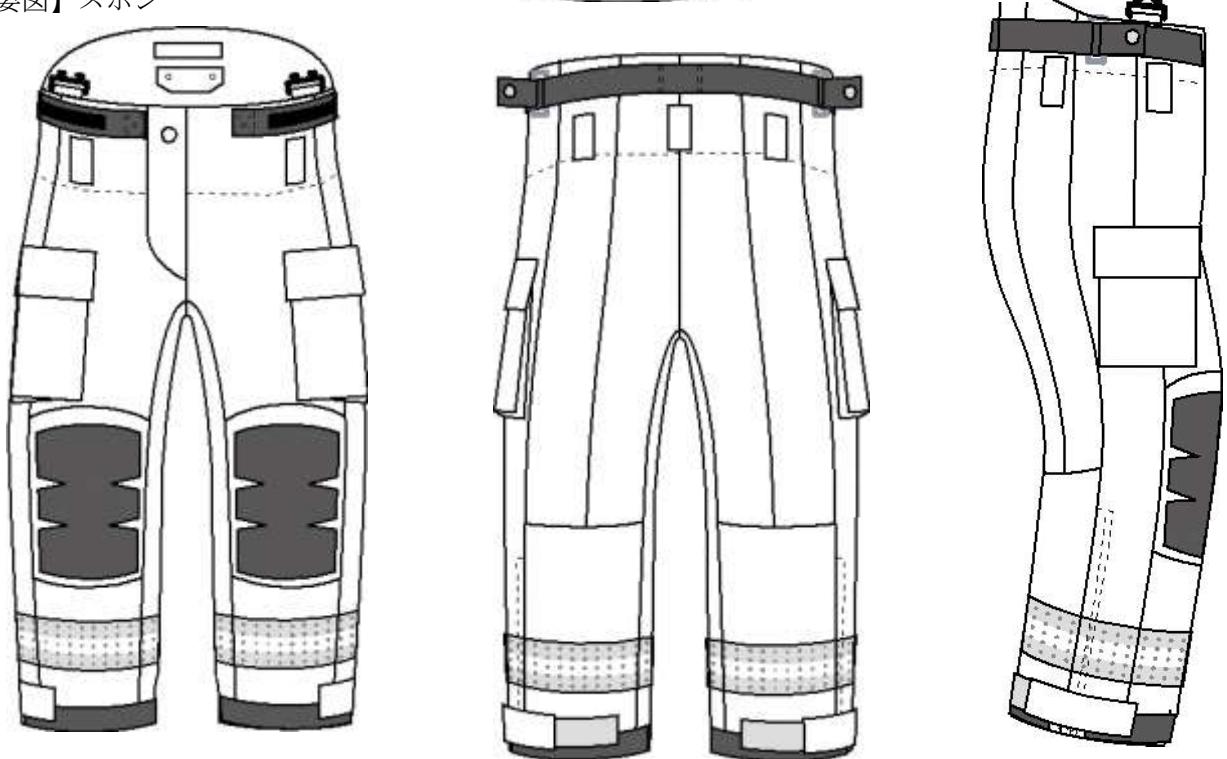
納期は令和8（2026）年3月31日（月）とする。

納入するサイズについては、契約後に連絡する。

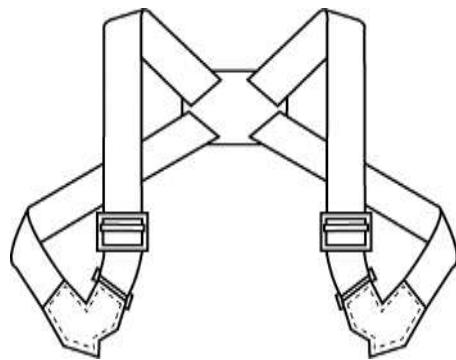
【概要図】 上衣



【概要図】 ズボン



【概要図】 ホルスター型サスペンダー



【概要図】 しころ

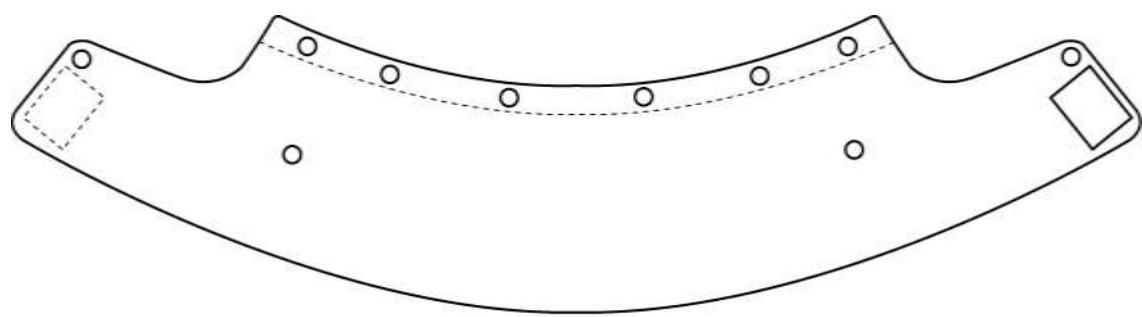
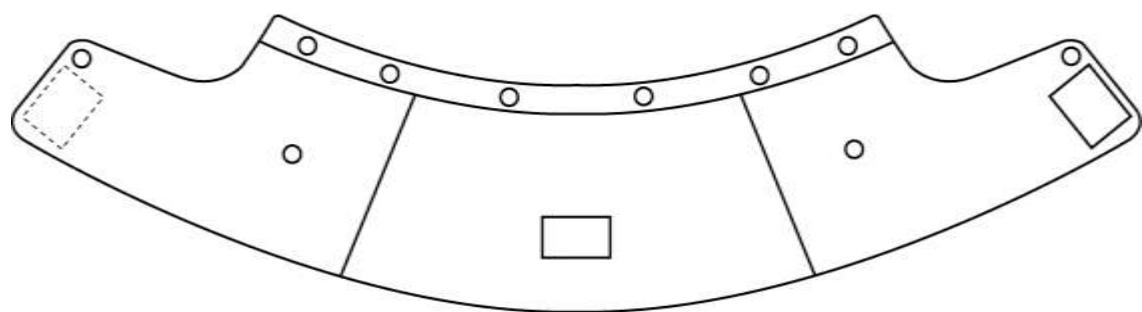
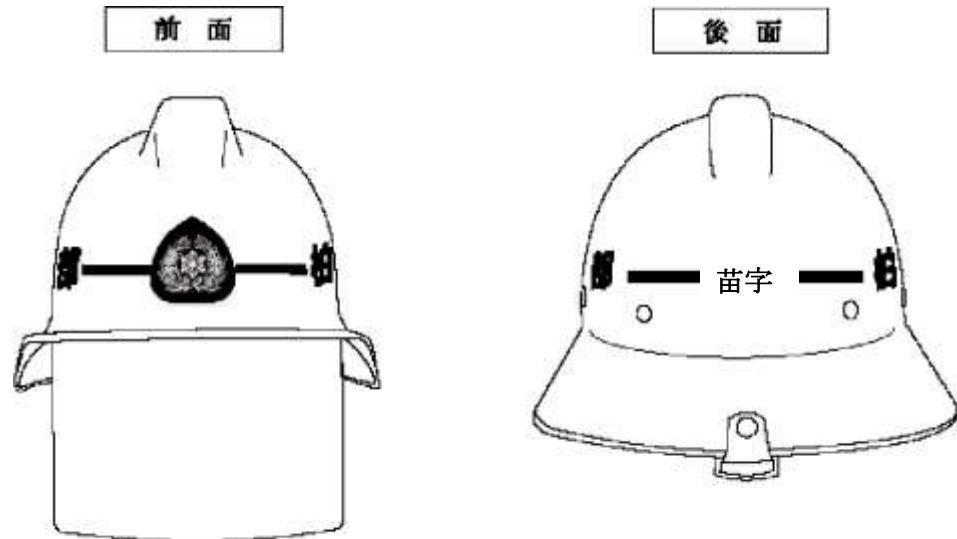


表 面



裏 面

【概要図】ヘルメット



- ・あご紐リング式
- ・前章：塩化ビニール製反射式（黒）



文字 黒色 角ゴシック 左右左読み

柏崎消防